

学校訪問シリーズ 92

大分市立別保小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「心豊かで自主性に富み、よく考え学び合う、心身ともにたくましい子ども（考動力）の育成」を達成するため、研究推進、特別活動、保健安全体育、生徒生活指導、特別支援教育の5部会がそれぞれ目標を定め、毎月検証、改善を行うことで、組織的に実践が行われています。

特に、働き方改革については、全職員の毎月の時間管理に加え、昨年度在籍した28人の職員について比較したところ大幅に削減していることがわかりました。このことから、昨年度の比べ、学年部の協力がすすみ効率的な取組が行われていることが明確となっています。



授業から学ぶ

全教職員がUDに基づいた「わかる」授業を実践されており、丁寧な板書や先生方の優しい言葉遣いが印象的でした。

子ども達も、発言者の方を向いて聞いたり、ハンドサインで意思表示をするなど、発言をつなぐことで、学びの空間をつくっていました。このような取組を徹底させると、より安心した学びが行われると思われました。

今後は、短時間のペア学習を複数回取り入れたり、学び合い行ったりする等、子ども達をほめるような場を多く設け、学びのリーダーを増やすことで、本校が目指す考えを伝え合う活動が推進されると思われました。



NO.510 2022年11月 大分市立別保小学校

集中力

先生の説明をしっかり聴く。そして、疑問に思うことや調べたことが、課題になる。



NO.511 2022年11月 大分市立別保小学校

考える子

一人で考える時は、教室から声が消える。教科書やノートで調べながら自分の考えをまとめる。



NO.512 2022年11月 大分市立別保小学校

優しい子

友達の発言に対して、自分の考えをハンドサインで伝える。反応があるから安心できる。



NO.509 2022年11月 大分市立別保小学校

つよい子

手を挙げるのは勇気がいる。だけど、しっかり聴いてくれる友達がいるから発言できる。